

# 労山全国連盟 メールニュース

発行：日本勤労者山岳連盟 メディア局

2016年8月30日 第25号

---

## ▲△1：8月11日 国民の祝日「山の日」スタート 各地で記念の取組み

---



上高地の記念式典  
会場風景

8月11日は今年から「国民の祭日」となった山の日です。この日を記念して、「第1回山の日記念全国大会」が10日と11日に松本市と上高地で開かれました。そのメインである記念式典は、8月11日（木・祝）午前9時から上高地のバスターミナルに特設された会場で開催されました。この日は好天に恵まれ、穂高連峰もくっきりと見えていました。式典を主催したのは、労山もその一員である「全国『山の日』協議会」や長野県、松本市などをつくる実行委員会。参加者は約400人でした。労山からは西本会長と川嶋事務局長が出席しました。

式典のなかでは、松本市長や長野県知事、衛藤・山の日制定国会議員連盟会長などのあいさつがあり、一家で参加した皇太子からもあいさつがありました。また、各界識者による「山への想い」がビデオメッセージで紹介され、特にC・W・ニコル氏の「日本人は日本の山の美しさを良く理解していないのではないか」という指摘が印象的でした。

このほか、全国各地で地方ごとの行事がとりくまれ、労山の地方連盟も他の山岳団体や自治体と協力して、その成功に尽力しました。労山各会でも、山行中の山頂などで「祝 山の日」のカンバンを掲げ、新祝日スタートをアピールしました。

→添付の写真参照

---

## ▲△2：第16回「全国登山研究集会」への参加をよろしく 各地方連盟・各会から、多数のレポート提出を

---

11月5～6日に東京で開催される「第16回全国登山研究集会」の参加申込を受付中です。全国各地からのレポートも募集中です。全国には、すぐれた活動経験がたくさん蓄積されていると思います。それを発表しあい、学ぶことで、これからの活動を豊かなものにしていきましょう。ぜひ多数のご参加をお待ちしています。なお、この研究集会には、「全国ハイキング交流集会」も合流して開催されます。

### 第16回全国登山研究集会

日時 11月5日（土）13：00～6日（日）12：00

会場 国立オリンピック記念青少年センター（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

※新宿駅から小田急線で2駅目・参宮橋駅下車 徒歩7分

初日は国際交流棟2F 第一ミーティングルームにて

二日目はセンター棟4F 415室 8：30～

参加対象 登山会員および全国の登山者

参加費 1泊2食5000円

日帰り参加は一日でも二日でも500円

日程（5日）記念講演、目で見ると見る登山の歴史、地方連盟・会からの活動報告

（6日）分科会、ハイキング交流集会

参加申込 参加申込書（添付参照）を全国連盟事務局へ

---

## ▲△3：全国からの救援募金を熊本県連に手渡す

---

4月に発生した熊本地震で、全国の登山会員から救援募金が寄せられ、200万円以上に達しています。

熊本県連からの報告では、会員の被災状況は熊本山遊会で住宅の半壊3名、一部損壊6名、熊本勤労者山岳会で半壊5名、一部損壊9名、家財損壊3名、八代勤労者山岳会半壊1名、一部損壊3名などとなっています。

これに対して全国連盟は5月にまず50万円を熊本県連に送り、7月30日と31日には浦添理事長が現地を訪問し、追加の100万円を手渡しました。その使い道は、被災した登山会員の救援に



浦添理事長（左）が救援募金を井上邁雄  
・熊本県連会長（中央）に手渡す

熊本県連で配分してもらうほか、現地のボランティア団体への支援などにあてる予定です。

---

#### ▲△4：今年も「福島の子どもたちと夏休み」を実施

8月2日（火）～4日（木） 静岡県島田市で開催

---

今年も「福島の子どもたちと夏休み」のプロジェクトが、静岡県勤労者山岳連盟の主催により静岡県島田市「山村都市交流センターささま」で8月2日～4日に開かれました。このプロジェクトは、福島原発事故の影響でいまだにのびのびと野外で遊ぶことのできない福島県南相馬市の小学生20名を招待して、豊かな自然のなかで遊んでもらおうというもの。今年で3回目になります。

宿泊場所は、統廃合された元小学校を改修した施設で、静岡県連を中心とする実行委員会20名程が実施にあたり、3日間は川遊びやバーベキュー、キャンプファイアなどに興じる子ども笑顔があふれました。プロジェクトのメインは、大井川の支流・笹間川を利用した川遊びです。ほとんどの子が初体験でした。元気よく飛び込む男の子たち。「流れが速い」「俺も早くてびっくりした」「泳ぎづらい」と言いながらも泳ぎます。女の子たちは「冷たいねー」とそっと水に入る子も。馴れてくると少し高い岩から飛び込んだりして元気一杯でした。今回は地元・川根町の小学生16人ともバーベキューで交流。ボール蹴りや手の輪くぐり遊びをしました。このほかに木の枝を使った人形作り、巨木見学などさまざまな体験をして南相馬に帰りました。

なお、このプロジェクト成功のためにカンパをお寄せいただきました全国の皆さま、ご協力ありがとうございました。

写真 静岡新聞より転載 [バーベキューと一緒に]



---

## ▲△5：全国登山者自然保護集会を11月に茨城県・つくば市で 「労山自然保護憲章」制定からの10年をふまえて

---

全国連盟自然保護委員会（花村哲也委員長）は第18回全国自然保護集会を11月に茨城県つくば市で開催します。メインテーマは「自然保護憲章制定から10年と、今後の自然保護について」。

「労山自然保護憲章」は2006年2月に制定され、今年で10年を経過しました。今日、憲章で取上げなかった課題として、シカ、イノシシ、サル、クマなどの野生動物による影響、被害と共生の問題、地球温暖化の急激な変化である異常気象、福島原発事故による山岳の放射線汚染などの諸問題が出現してきました。この機会に、「労山自然保護憲章」を改めて学び、今後の労山の自然保護の方向性を議論し、同時に、将来的な「自然保護憲章」見直しも議論する予定です。これからの自然保護をみんなで考えましょう。ふるってご参加ください。実施要綱と申込みはこちらです。

<http://www.jwaf.jp/upload/info/373>

◆日 程：2016年11月12日（土）13時～13日（日）12時

◆開催（宿泊）場所：つくば市・筑波ふれあいの里

（交通アクセス）つくばエクスプレス線で秋葉原駅11:00発電車にお乗りください。

終点つくば駅よりシャトルバスで筑波山口下車 会場まで県連会員車およびタクシー相乗りでお送りします。マイカーでの参加もOK。

◆記念講演：2016年11月12日（土）13時40分～15時

講演者：小川 潔（東京学芸大学名誉教授・元労山自然保護憲章制定委員）

講演テーマ（案）：「自然保護憲章制定から10年」

◆日程詳細

12日の記念講演終了後、各地方連盟からの活動報告。

13日午前中は分科会を行います。

◇ 第1分科会＝現行自然保護憲章の役割と労山会員への普及について

◇ 第2分科会＝自然保護憲章で今後盛り込むべき内容、改訂について

◇ 第3分科会＝未組織登山者への自然保護意識の普及と情報発信について

13日午後は、オプションで筑波山登山を行います。

---

## ▲△6：「登山時報」 1年3ヵ月で145部増誌

購読拡大 金メダルは増加率で鹿児島県連（181%）

増部数で千葉県連（34部）、購読率で福島県連（47%）

—購読率は最低でも10%、購読部数ゼロの会をなくそう—

---

全国連盟は「登山時報」の普及・購読拡大を全国の会員に呼びかけていますが、地方連盟・各会のご協力を得て、少しずつ、その成果が上がってきています。全国連盟機関誌

委員会（高橋友也委員長）は、最近の2016年9月号と、購読部数が最低に落ち込んだ2015年6月号を比較し、地方連盟ごとのランキングを算出してみました。その結果は右の表、および、添付の一覧表のとおりです（なお、個人購読者については県連ごとの整理が不十分のため、ランキングの比較からは外してあります）。

機関誌委員会でも、各地方連盟に協力をよびかけ、各会に無料見本誌を提供することや、新入会員の登山会員登録時に見本誌を登山カードとあわせて送ることなど、取り組んできました。

購読部数は2015年6月に2598部（団体）と最低を記録しましたが、今年2016年9月号では2743部（団体）となり、145部増加しています。特に、福島県では「福島勤労者山岳会」で0から11部となり、千葉県「松戸山の会」でも29部→46部、「君津ケルン山の会」で0→6部、東京都の神田山の会9部→19部、町田グlaus山の会28部→40部、鹿児島県でも「鹿児島勤労者山岳会」で21部→32部、「山坂達者の会」で0→6部、また香川県では県連全体で55部→72部と17部増誌、30%増となっています。

逆に、減誌が見られる地方連盟もあります。

引き続き、購読拡大の取り組みへのご協力をよろしくお願いいたします。特に、購読部数0の会は、ぜひ有料購読をしていただき、また購読率10%以下の地方連盟は、ぜひ、10%以上を目指していただくようお願いします。

全国連盟では、希望する団体への見本誌無料提供を行なっています。ご連絡をください。力を合わせて、「登山時報」の発行基盤を固めていきましょう。

### 「登山時報」購読拡大ランキング

#### ●拡大率では

順位	地方連盟	拡大率
金メダル	鹿児島県	181.0%
銀メダル	千葉県	139.1%
銅メダル	香川県	130.9%

増部数10部以下、購読率10%以下は除外

#### ●拡大部数では

順位	地方連盟	増部数
金メダル	千葉県	34部
銀メダル	東京都	27部
銅メダル	兵庫県	18部

#### ●会員数に対する購読率では

順位	地方連盟	購読率
金メダル	福島県	46.6%
銀メダル	埼玉県	33.4%
銅メダル	岩手県	33.3%

会員数20人以下の県連は除外

---

## ▲△7：2017年登山カレンダー 名入れ受付 好評販売中 今回も秀作ぞろいです 写真 当選者決まる

---

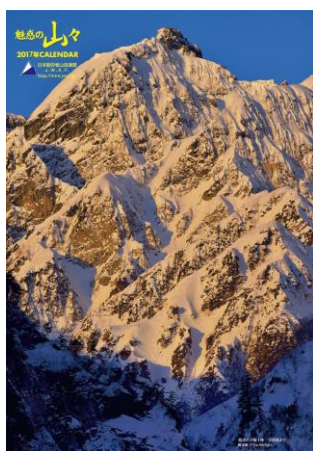
2017年の登山カレンダーを飾る写真の審査が7月末に行われ、16名の会員の応募作品全96点から7点が選ばれました。当選作品は以下のとおりです。当選された皆さま、おめでとうございます。

	タイトル	お名前(敬称略)	所属
表紙	陽光の不帰 I 峰	岡 孝雄	プリムラ山の会（東京都）

1～2月	厳冬の八ヶ岳	宮澤 健二	十日町おだまき山の会（新潟県）
3～4月	谷川岳 南稜を一ノ倉沢に向かって下降	山内 義弘	ROUSAN パートナーズ
5～6月	浅草岳山麓	武田 喜代人	郡山勤労者山岳会（福島県）
7～8月	お花畑から白馬三山	加持 千弦	あるふハイキングクラブ（高知県）
9～10月	錦秋、宝剣岳	畑 誠一	川崎ハイキングクラブ（神奈川県）
11～12月	赤岳残照	嶋 和夫	野火止山の会（東京都）

カレンダー写真はこちらでご覧いただけます。

<http://www.jwaf.jp/publication/calendar/index.html#calendar>



#### 【申し込み方法】

- 労山加盟団体の会員の方は、所属会・クラブを通じて各地方連盟にお申し込みください。
- 各地方連盟・各会の名入れサービス締めきりは9月30日です。
- 名入れサービスがない場合の部数の注文締めきりはありません。在庫が無くなり次第終了させていただきます。

## ▲△8：『山のグレーディング』 岐阜県と群馬県も発表 長野・静岡・新潟・山梨に続き6県に拡大

県内の主要な登山ルートについて、統一基準によりランク付けする『山のグレーディング』で、これまでに公表されていた長野・静岡・新潟・山梨に続き、岐阜県（75ルート 3月公表）と群馬県（85ルート 8月公表）でも『山のグレーディング』が公表されました。これは、登山者の山岳遭難事故防止を目的とするもので、「自分の体力や能力・技術に応じた山選び」の情報を登山者に提供しています。背景には「体力の低下を意識しない中高年者」や「山の怖さを知らない初心者」が、県内の急峻な山岳を訪れ、遭難事故増加の一因となっていることがあげられています。

6県とも、ランク付けは専門家や登山者の協力を得て統一基準にもとづいており、体力度（1～10段階）と技術的な難易度（A～Eの5段階）で評価されています。体力度レベルは、鹿屋体育大学の山本正嘉教授の研究成果をもとにしています。使用にあたっては、自分の調べたい山を「山のグレーディング一覧表（50音順）」から見つけ、体力度と技術的難易度を確認して下さいとのことです。

6県のグレーディングを見るには、「〇〇県 山のグレーディング」でネット検索すればすぐ表示されます。